

Stage II

<p>① 視覚 - 運動協応や随意運動の発達を促す</p> <ol style="list-style-type: none">1. 視覚 - 運動スキル<ol style="list-style-type: none">1-1. 目と手の協応1-2. 書くことの基礎1-3. 制作の基礎2. 構成*<ol style="list-style-type: none">2-1. 実物やカード見本による構成2-2. 顔・身体の構成3. 動作模倣<ol style="list-style-type: none">3-1. 手指の模倣3-2. 左右の分化（静止）3-3. 手足を使った模倣（静止）3-4. 手遊び、体操、遊戯4. 運動サーキット（見本を見て模倣する）5. 音声模倣<ol style="list-style-type: none">5-1. 音声の基礎的トレーニング5-2. 音声模倣	<p>③ 物に名前のあることの理解の基礎を確実にする （いろいろな属性を抽出し、言葉で確認する）</p> <ol style="list-style-type: none">9. 色・形の抽出（幼児）*10. 色・形の統合と分解（学童以上）*<ol style="list-style-type: none">10-1. 色・形の統合10-2. 色・形の分解10-3. マトリックスの理解11. 名詞理解を確実にする*<ol style="list-style-type: none">11-1. 名詞の理解11-2. 名詞による御用学習11-3. 情景の絵の中の名詞理解12. 名詞理解を広げる13. 用途による物の理解*14. 動作語の理解15. 擬声語や音の理解16. 名詞の複数指示の理解	<p>④ 物と物との関係の概念の基礎をつくる</p> <ol style="list-style-type: none">17. 近接の関係18. “同じ”の理解<ol style="list-style-type: none">18-1. “同じ”の理解18-2. “違う”に気づく
<p>② 対象指示活動を十分に作る</p> <ol style="list-style-type: none">6. 応答の指さし7. 要求の指さし8. 同じ物どうしの線結び		<p>⑤ イメージの世界の芽生えを確実にする</p> <ol style="list-style-type: none">19. 絵本、パネルシアター等の場面を楽しむ20. 描画・制作<ol style="list-style-type: none">20-1. 簡単な形を描いて楽しむ20-2. 簡単な形を作って楽しむ21. 身振りの理解22. 再現遊びと簡単な見立て遊び*
		<p>⑥ コミュニケーションの基礎をつくる</p> <ol style="list-style-type: none">23. 要求手段の有効な使用*24. 自分の名や身近な人の名の理解25. 日常生活での言葉かけの理解と表出<ol style="list-style-type: none">25-1. 日常生活での言葉かけの理解25-2. あいさつ言葉26. 大人との関係をつける27. 子どもどうしの関係に慣れる28. 小集団の中で行動できる*<ol style="list-style-type: none">28-1. 集団活動の大枠に参加する28-2. 大人の介助で役割ができる